

図工は
苦手?!

小学校教科専門科目・図画工作の授業から

グループワークで楽しさ100倍!!

美術コース以外の学生の中には図画工作が苦手だという声もあります。

上手下手ではなく、まずは紙・木・粘土・絵具・パスなど、色々な素材自体をみんなで楽しめます。

グループワークで授業を進めると、自然と会話がはずみ、それぞれの役割も生まれ、アクティブラーニングが始まります。

互いにアイデアを出し合い、協力し合い、一つの作品を完成させる。その過程を楽しむのが一つの目的です。

粘土を使って



粘土をひたすら伸ばすと、長い長い龍になりました。

お団子をつくって、穴をあけると顔が出来ました。粘土は付けたり取ったり、手で形を自由に変わるので、立体作品をつくるのにはもってこいです。色々な顔をどんどん積んで。どのグループが一番高い?!

パスを使って

講師：伊吹拓



オイルパステルは描くだけでなく、こすったり削ったりすると独特の表現がうまれます。グループ内であれこれ相談したり、先生にアドバイスをもらったりして作品に仕上げます。

絵具を使って

講師：須増啓之



水分の量によって絵具の表情は変わりますので、トトロ絵具やシャバシャバ絵具を用意し、ローラー、段ボール、ブラシや指など、筆以外のものを使って様々な色紙をつくります。



自分たちで描いた色紙を切って貼ってコラージュ作品をつくります。どの色紙の、どの部分を使おうか。楽しく、真剣に取り組んでいます。



紙粘土を使って



「富士山の上で友達100人と食べるお弁当」



木と釘を使って



「大教の妖精たち」各自で制作後、外に出てみんなで集合写真を撮りました。



「バストラミサンドとピカチュウクレープ」

一人一人がそれぞれの具を担当しました。紙粘土は絵具を混ぜて色粘土にしたり、空き箱に貼りつけて装飾できるのが特徴です。